

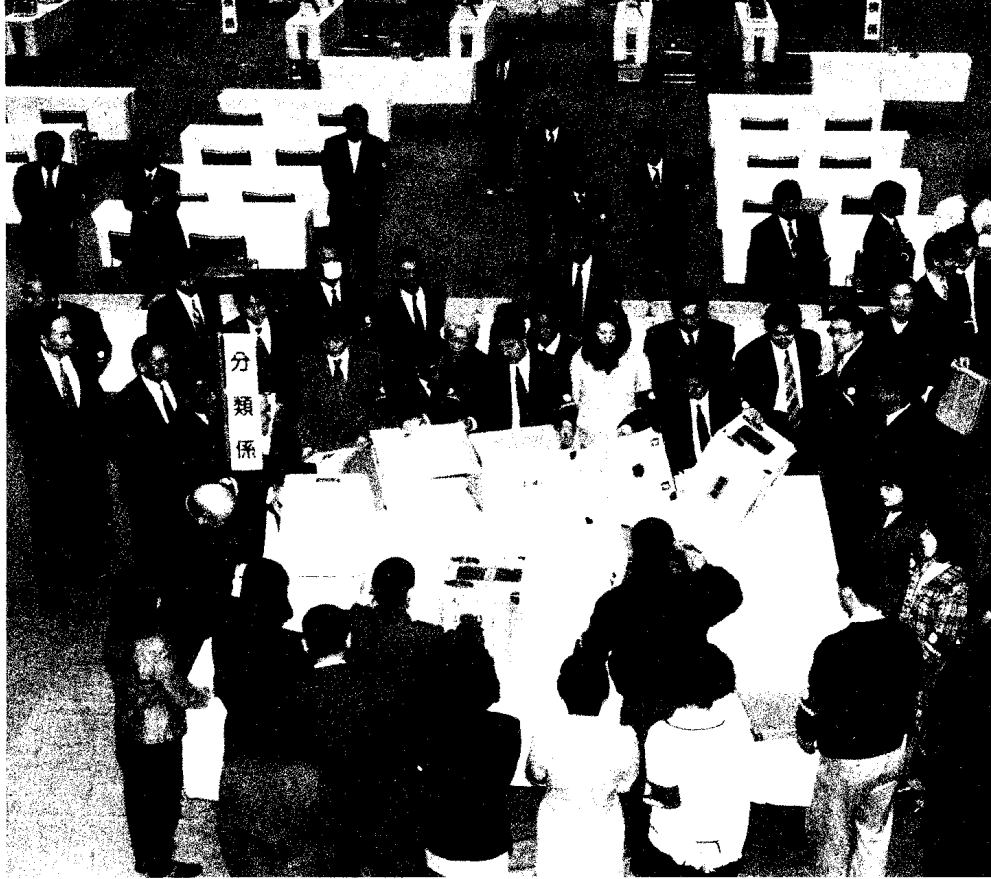
こがねい 市議会だより

第165号
第1回定例会

平成9年(1997年)
4月11日発行

発行/小金井市議会 編集/議会報編集委員会

〒184 小金井市本町六丁目6番3号 TEL (0423) 83-1130(直通) FAX (0423) 87-1225



3月23日に行われた市議会議員選挙開票風景(次回の議会だよりでは、新しいメンバーのお知らせをいたします。)

315億1600万円の予算可決

議員職員削減条例で論議

平成9年第1回定例会(清水健議長)は、2月5日に開会し、3月4日に閉会しました。

今定例会では、市長から当初、一般会計補正予算(第5回)など議案26件が送付されました。その後、建物の買入れ等の議案7件が追加送付され、合計33件を全て可決又は同意しました。

開会した5日には閉会中の委員会で審査を終了した陳情5件の審査報告を行い、採決の結果4件を採択し、1件を不採択としました。

なお、議案審議に先立って市長から平成9年度の施政方針が表明され、これに對して退職手当償への対応などについてただしました。

19日に開催した総務委員会では、平成8年度の市職員の給与改定に係る議案等について質疑しました。

21・24・25・28日に予算特別委員会を開催し、平成9年度当初予算等を質疑しました。28日の委員会では、平成9年度当初予算の中で、退職手当償発行について付帯決議が提出され、これを付すことと決定しました。

26日に開催したごみ問題対策特別委員会では、ごみ減量対策及び終末処理に係る諸問題の調査を、また、同日開催した駅周辺整備・中央線立体化問題調査特別委員会では、中央線連続立体交差化、南北交通難解消及び駅周辺開発に係る諸問題の調査についていずれも今期の調査を締めくくり、本会議で中間報告をすることと決定しました。

27・28日の行財政問題調査特別委員会では、行財政再建に関する諸問題に係る調査について6項目の調査結果をまとめ、調査を終了しました。

最終日の3月4日の本会議では、議員から提出された小金井市議会委員会条例の一部改正と小金井市職員定数条例の一部改正の議案をそれぞれ上程し、委員会の調査報告がされ、討論、採決を行いました。

なお、行財政再建に関する諸問題に係る調査の少数意見報告書の取扱いについて調整に時間を要し、少数意見留保者から訂正が行われました。その後、議員から提出された意見書・決議6件を全て可決し、閉会しました。

退職手当償で付帯決議

第1回定例会日誌

- 2月5・6・7・10日——本会議(2頁)
- 12・13・14・17日——一般質問(2～4頁)
- 18日——厚生文教委員会(5頁)
- 19日——総務委員会(5頁)
- 20日——建設委員会(5頁)
- 21・24・25日——予算特別委員会(5頁)
- 26日——ごみ問題対策特別委員会(5頁)
- 駅周辺整備・中央線立体化問題調査特別委員会(6頁)
- 27日——行財政問題調査特別委員会(5頁)
- 28日——総務委員会(5頁)
- 建設委員会(5頁)
- 厚生文教委員会(5頁)
- 予算特別委員会(5頁)
- 駅周辺整備・中央線立体化問題調査特別委員会(6頁)
- 行財政問題調査特別委員会(5頁)
- 3月4日——本会議(6頁)
- 総務委員会(5頁)

この議会報は再生紙を利用しています。
ごみ減量と資源の再利用にご協力ください。

本 会 議

(5・6・7・10日)

▼5・6日の本会議は、議案審議に先立ち市長から平成9年度の施政方針が表明されました。そのうち市政運営における基本的な目標の概要は次のとおりです。

景気の先行きは不透明であり、楽観できる状況ではない。本市の財政状況も歳入が3年連続して前年度を下回っており極めて厳しい状況である。市政運営の基本方針である第二次基本構想の将来像である「緑ゆたかないきいきとした文化都市(こがねい)」の実現に向けて諸施策を推進していくため、行政の健全化を図ることが緊要なもので、関係経費の節減、組織機構の適正化、給与制度の抜本的改革などによる職員数の減員による人件費抑制など歳出削減を図り、現下の財政状況を改善し、これまでも増した徹底した行政改革に向けた取り組みを強化していく。

施政方針で論議

【質】退職手当償の返済に ついてはどのように 行うのか。

【答】人員を削減し、行政改革により行政のスリム化を図ることにより財源を生み出していく。情報公開条例の制定に向けてどのような準備を進めているのか。

【質】現在、情報公開制度づくり懇談会を設置し論議をしていたら、いるところであり、答申を受けて条例制定を図りたい。

【質】男女平等都市宣言を行ったことは大変評価するが、今後の展開はどのように考えているのか。

【答】内部で十分検討しつくりながら対応していきたい。



男女平等へのプランニング

【質】経常収支比率が全国ワースト1になっているが、その原因はどこにあるのか。

【答】経常収支比率が悪化している原因は、人件費比率が高いこと、不況による市税収入の減少、特別減税、各種事業収入の減収等による歳入の減にある。

【質】議員の期末手当を削減

厳しい財政状況を踏まえて平成9年3月に議員に支給する期末手当の額を削減する議案が提出され、原案のとおり可決されました。

一般質問 (12・13・14・17日)

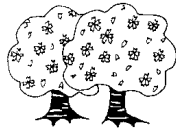
こころが聞きたい ただしたい

21世紀へ向かって 小金井市政の 前進を

【黒川議員】30年間、市政に送っていただき、活躍でき、歴代の市長、部長、課長、そして市民の皆様から御礼申し上げます。42年、市は東小金井駅北口の区画整理問題がありました。議会に先見性があれば、私達が今こんな苦しいも助かって済んだし、財政的にも助かって済んでいます。次に46年、革新市政誕生から始まった職員正職化。清掃事業、市警備等一気に30人以上の定数増になったことで、今所入のリストラが話し合える状況で、責任の一端を果したと思います。三番目には星野市長の信任・解散です。二度とこのようなことのないことを願っています。

【和田(茂)議員】④小に設置された生ごみの堆肥化プラントが、他校へ普及しない。なぜか。小学校9校で70トン、中学校5校で31トン、保育園11園で32トン、合計133トンの生ごみが排出されている。環境教育もリサイクルされているものも半分以上置きざりで外に排気し新しいタイプのものが市場に出ている。生活環境部長 一層調査をして対応してまいりたい。②アメリカでは、老人議員

【福社部長】高齢者自身が自立した活動を展開していただく為、老人憩いの部屋、16単位の老人クラブの活動、高齢者協同組合など高齢者が自ら任事をつくり出して生きがいを保持していく活動もある。行政の範囲はのぞくと限定されたい。



【福社部長】高齢者自身が自立した活動を展開していただく為、老人憩いの部屋、16単位の老人クラブの活動、高齢者協同組合など高齢者が自ら任事をつくり出して生きがいを保持していく活動もある。行政の範囲はのぞくと限定されたい。

東部地区の まちづくりを進めよ

【武井議員】①(新)小金井駅西口駐輪場わきの空地に集会所を建設し地域活性化の一助にしたい。②(東)小金井駅南口に郷土米の物納国有地があるが、市が買い取りイベント広場としてどうかとの質問が前定例会でもあったがどのようにしているのか。

【市長】(ア)将来高度利用を図っていく方向で今後研究したい。 (イ)引き続き、今後の財政状況を見ながら十分研究させてもらいたい。

【企画財政部長】市報については新年度当初に、三宅島友好協会の会報については協会の役員と十分に話し合っている。



活性化が待たれる市東部地区(新小金井駅前)

市政全般について、議員が自由にただせる一般質問の制度があります。今定例会では発言通告をした12人の議員のうち、都合により辞退した大島議員を除く11人が4日間に行いました。質問内容の多かったものは、行政再建問題や高齢者福祉問題についてなどでした。以下はその要旨です。(2・3・4ページ、原稿は各議員が作成)

決議・意見書

今定例会では、議員から決議2件と意見書4件が提出され、6件全てを原案のとおり可決しました。なお、平成8年第3回定例会で提出され継続審査となっていた決議1件も可決しました。

【財政再建のため議員及び全職員の期末勤勉手当加算の見直しを求める決議】平成2年、人事院は期末勤勉手当に関して新たな加算措置の導入を勧告し、この勧告に添って小金井市は平成3年第4回定例会で条例改正が行われた。平成8年第3回定例会に特別職の給与に関する条例の一部を改正する条例の一部改正が提案された。これは、理事者の期末手当に、20%加算するものを10%にカットするとうものである。

【本米職務加算は必要であるが、現下の財政状況を考慮すればやむを得ない措置であり、本市の財政状況が厳しい原因が人件費比率にあることを考え、職員の仕事加算のあり方を含め、同時に加算された議員の20%も見直すべきである。以上決議する。】

【不動産登記に係る登録免許税制の抜本的見直し等に関する意見書】登録免許税は種別によって税率に大きな差異があり、租税特別措置法における減免の特例措置をもつても依然高い水準にあり、特例制度の是非も考慮されなくてはならない。よって、次の事項について強く要請する。

- 1 不動産登記の登録免許税について、抜本的な見直しを行うこと。
2 特に、所有権移転に関する登記及び地上権、賃貸借権等の設定・移転の登記の税率を緊急に見直すこと。
提出先 内閣総理・法務・大蔵・自治大臣
採決結果 全員賛成

サッカー等、多目的運動場の確保を

稲葉議員 小金井市はスポーツ施設が少ない。(1)小金井公園に多目的運動場が建設できないか。(2)小金井工業や小金井北の都立高校や中大附属や電気大附属の私立高校の地元開放は。(3)国立、私立の大学の開放は。(4)東小金井駅南口の日本産科大のグラウンドは。社会教育部長 (7)現在、サッカーが非常に盛んで、年々人口が増えているが併用施設として市管競技場があるだけでサッカー場がありません。そのため、利用者は会場の確保に苦労されています。最近、小・中学校のグラウンドも利用しているが学校行事等

相続税の物納国有地を買収して公園・遊び場に

井上議員 ①相続税の物納国有地の遊休地は、二万九三〇五㎡で台帳価格で七六億三〇四五万円になっている。(2)課税したらいくらになるか。(3)公園にする場合の大蔵省の方針は。(4)市の十四億円の公園整備基金を活用すべきだ。(5)緑町の物納地を買収して公園にしないか。

企画財政部長 (7)おおむね二千万円になる。(8)市が三分の二を買収すれば、あと無償貸付を受けられる。(9)緑の基本計画の中で検討する。(10)全体のバランスをみながら考える。

②緑町の小金井団地の建て替えて、(7)住民の意向調査の結果はどうなっているか。(8)特定目的賃貸住宅の建設計画はどうすすんでいるか。

福祉部長 (7)公営住宅の入



物納国有地を買収して公園に
財団法人 国有財産管理開発センター
連絡先電話 03-5410-0611



市内のスポーツ施設を充実させてほしい(市宮グラウンド)



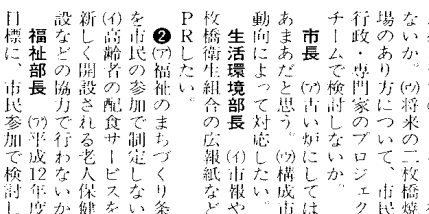
ダイオキシンの発生抑制のために

森戸議員 二枚橋焼却場から発生するダイオキシンは、1.2号炉は、81.9mg/m³、3.4号炉は5.9mg/m³である。(1)この数値をどう考へるか。(2)ダイオキシン発生の原因である塩化ビニルの混入をさけるため市報でのPRなどを行わないか。(3)将来の二枚橋焼却場のあり方について、市民・行政・専門家のプロジェクトチームで検討しないか。

市長 (7)古いがにははまあまあだと思ふ。(8)構成市の生活環境部長 (8)市報や二枚橋衛生組合の広報紙などでPRしたい。

②(7)福祉のまちづくり条例を市民の参加で制定しないか。(8)高齢者の配食サービスを、新しく開設される老人保健施設などの協力でできないか。

福祉部長 (7)平成12年度目標に、市民参加で検討した



市民が安心して暮らせるごみ処理

市の補助金・助成金のあり方について

野見山議員 ①財政難の内部で検討し、その結果を十分に使われているか市民が判断していく上で情報公開が必須である。(2)市は補助金をどう使うのか。(3)何年かに一度専門家による調査委員会を設置しないか。(4)中小企業等勤労者福祉共済会など市が大きな補助金を出している団体は公共性から情報公開条例の実施団体にすべきだし、その団体の定款等にもりこむように要請すべきだと思うがどうか。

企画財政部長 (7)新たな事業を実施するに当たっても期間等を定める必要がある。(8)そのような考えはない。

総務部長 市長会としては、(1)コストがかかって、市が配食するのはむずかしい。(2)調布飛行場の都営空港化問題の住民説明会に市長が出席しないか。(3)中央線立体化に伴う東小金井駅のあり方について、市民の声を聞いて

市長 (7)都によって市民のみなさんの意見を聞いてもらうのが筋である。

都市整備部長 (8)今後、利用者、障害者など十分連携をとりながら対応する。

野見山議員 内部で検討し、その結果を十分に使われているか市民が判断していく上で情報公開が必須である。(2)市は補助金をどう使うのか。(3)何年かに一度専門家による調査委員会を設置しないか。(4)中小企業等勤労者福祉共済会など市が大きな補助金を出している団体は公共性から情報公開条例の実施団体にすべきだし、その団体の定款等にもりこむように要請すべきだと思うがどうか。

企画財政部長 (7)新たな事業を実施するに当たっても期間等を定める必要がある。(8)そのような考えはない。

総務部長 市長会としては、(1)コストがかかって、市が配食するのはむずかしい。(2)調布飛行場の都営空港化問題の住民説明会に市長が出席しないか。(3)中央線立体化に伴う東小金井駅のあり方について、市民の声を聞いて

決議・意見書(要旨)

住所移動が通例化した現代社会では、戸籍の附票の重要性が増加しており、それらの保存期間は時代にそぐわない制度となっているので、除籍簿、改製原戸籍、消除された戸籍の附票の保存期間をいずれも10年とすることを強く要請する。

提出先 内閣総理・法務・自治大臣

採決結果 全員賛成

「オレンジ共済事件」の真相糾明と国会・政党の自浄作用を求める決議

国会議員が詐欺容疑で起訴されるといふ前代未聞の「オレンジ共済事件」に、国民的な怒りが広がっている。先の参議院議員選挙の比例代表名簿の順位に、「オレンジ共済事件」のお金が使われたのではないかと疑念が明らかになりつつあり、これは国民の政治への不信を招いただけでなく、国会議員への信頼をも著しく傷つけるものである。

よって、国会と政党は自ら真相を明らかにし、政治に対する信頼の回復に努めるべきである。

以上、決議する。

採決結果 全員賛成

ナホトカ号からの重油流出事故に適切な対策を講じるよう求める意見書

ロシア船籍のタンカー「ナホトカ」が沖合に座礁し、流出した大量の重油による漁業被害額は相当の額になるといわれている。

第八管区海上保安本部では、流出重油は日本列島には寄り付かないと楽観していたが、現実には被害の深刻さを露呈しており、海上、海岸のみならず海中でも汚染が拡大している様子がうかがわれる。

よって、政府に対し、汚染の拡大を防ぎ、適切な対策を講じるとともに、沿岸各市町村への支援のための財政措置をとらるよう求める。

提出先 内閣総理・大蔵・農林水産大臣、環境庁長官

採決結果 全員賛成

職員削減計画の見通しがたつまで欠員の不補充を貫くことを求める決議

行財政再建のため、斯人の職員削減計画に対し市人の職員削減が同意されたが、財政危機を乗り切るためには、道半ばである。

平成7年度決算における経常収支比率は全国最下位を記録し、平成9年度当初予算においては、退職手当償を組まざるを得ない状況となっている。

まちづくり等の遅れや、市民施設等の不備も原因は人件費にあり、職員の削減はどうしても果たさなければならぬ課題である。

昨年の第3回定例会において、退職に伴う職員削減計画の断固実施を求める決議を賛成多数で可決した。したがって、残る66人の職員削減計画の見通しがたつまで正規職員による欠員の補充をしないことを強く求める。

以上、決議する。

起立採決結果

学校農園の 実現を

五十嵐議員

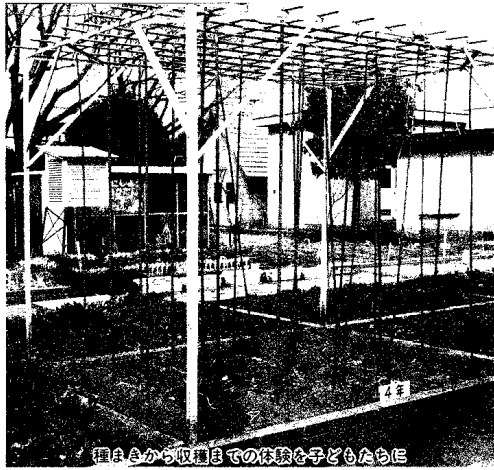
●都市の中の農地は緑地の保全という意味でも防災上も必要である。更に教育的な観点も含めて学校農園を実現できないか。国立市では農薬委員会の協力を得て、学校農園として田んぼや田植えや稲刈りを体験している。現在の体験学習での収穫体験だけでなく、種まきから収穫までの流れの教育を考えたい。

●学校教育部長 一度検討したことがあるが、農業者との合意に達しなかった。しかし子供たちの「ゆとりと生きる力」を育むためにも必要だと中教審の答申でも言われている。

隣接の農業者の協力が得られるか、又学校の中で指導要領の中における時間の取り方など今後の課題として研究してみたい。

●野井北町の地域センター建設には、これまでのように市が主体となつて住民の意見を聞くという形ではなく、現在木町分館で企画実行委員をやっている市民の方々とともに、市民による建設委員会を設置し、建設から運営まで市民が作り上げる形で、市民参加の方法をとらないか。

●企画財政部長 財源や人員問題があり、その辺を整理しないと取りかかれないが、地元の人達と協議をし、他の館との関連もあるので、十分検討させていきたい。



種まきから収穫までの体験を子どもたちに

中小零細業者の 仕事確保へ向けて

板倉議員

●(記念品など)の市の発注物品を地元中小業者に切りかえるための方法として、業者組合の入札や、幾つかの業者が合同で組織を形成して入札に参加することは可能か。(4)国保税減免制度の「その利用し得る資産能力の活用を図つたにもかかわらず」の規定は、生活保護法と同様に「預貯金があつてはならない」というもの。これは現実の業者の実態とかけ離れているのか、申請しにくい。

●総務部長 (7)登録をしてあ

小金井公園内の 野外ステージについて

渡辺(大)議員

●小金井公園内への野外ステージの設置について、東京都区来年度予算に設計費を計上したと聞く。(7)小金井新能や市民オーケストラなど文化団体や利用者の意向が反映されないか。(4)文化センターの建設が遅れる中、ここ数年の文化行政では大きな出来事となる。オープニングにも工夫をしていかならうか。(6)公園の近隣住民の方々の協力関係を構築し、喜ばれる、歓迎される野外ステージにして欲しいが、市の考え方は。

●企画財政部長 (7)周辺各町とも協議し、都へ要望していきたい。(4)江戸東京たても園ができた時も市の行事を

市民により開かれた 行政を進めるために

長谷川議員

●(7)情報公開 市民オンブズマン制度を早急な条制制定にあたって「知る権利」を充分保障する立場で取り組んでほしいか。(4)もつと読まれるようにしないか。

●市民部長 (4)他の人との均衡を考えると、活用できる資産という項目を取り除く考えはない。

●(7)九年度から公立保育園二園で実施する延長保育について、今後、職員が不足が生じた場合、延長保育は行っていないのか。(4)九年度から保育士の助成金を三年間にわたって段階的に引き下げていくことだが、市はこの三年間だけでも補助金を増額して保障していきたい。(7)中央児童福祉審議会が発表した直接入所方式に反対すべき。

●福祉部長 (7)一たん実施した延長保育の実施園は、仮に人員が出た場合、支障がないように対応する。(4)現在の財政事情の中では、なかなか難しい。(7)どのような影響があるのか、申し上げにくい。



市民の知る権利の保障への第一歩 (3月28日情報公開制度づくり懇話会の秋山会長から市長に手紙がありました。)



住民と協力し、小金井公園内の野外ステージ

●(4)市民の声を直接聞く制度づくりに努力しないか。

●総務部長 (7)2意見等を十分参考にしながら今後検討していきたい。

●企画財政部長 (4)財政状況もあり、直ちに設置は難しい。(7)市の情報を知らせよう努力していない。(4)現在のところ考えていない。

●(7)連雀通りの整備、安全な歩行にむけ努力しないか。

●(4)電線の地下化を促進しないか。(7)障害者、高齢者にやさしい「福祉型」のまちづくりをすすめるか。

●建設部長 (7)東京都にさらに要望を重ねていきたい。(4)一定の条件をクリアしたところについては努力していきたい。(7)今後とも指摘のよう

平成9年度東京都小金井市一般会計予算の歳入における市債中の退職手当債の発行について次の付帯決議を予算特別委員会の賛成者の総意として、この趣旨を留意の上執行に当たられるよう決議する。

付帯決議

平成9年度東京都小金井市一般会計予算において、退職手当債の発行によって職員の退職手当を支払わざるを得ない状況に立ち至ったが、その原因及び財政再建策について先に設置した小金井市行政改革市民会議の意見を聴くなどの方法を探り、併せて市民の理解を得る努力をするなどし、退職手当債の執行に当たっては慎重に対応すること。

☆付帯決議とは

●(7)審議の対象物である事件(この場合平成9年度小金井市一般会計予算)の議決に当たって、その事件に付随的につけられる意見・要望のことをいいます。可決または否決では議決として微妙な意向が表現できない場合に、併せて付帯決議を議決して議会の意志を表明するという取扱いです。

賛成 自民党・市民、公明、情報公開・環境1、生活者ネット、行革進、民社、市民フォーラム

反対 日本共産党

退席 社民党、情報公開・環境1、大衆党、市民権

児童福祉法改正に關し、保育所措置制度を堅持し、公的保育制度の充実を求める意見書

厚生省は、保育所の利用システムの変更などを含んだ児童福祉法改正を目指しており、改正案は、子どもの豊かな発達と、保育所に預けて働き続ける父母の願いに逆行するものである。

東京の保育制度は、欠くことのできない公的な福祉制度であり、一層の充実を図る上でも保育所措置制度を堅持し、国の保育予算の増額が急務である。

「子どもの権利条約」には、「子どもの最善の利益のために児童の福祉に必要な保護及び養護を確保することを約束し、すべての適当な立法上、行政上の措置をとる」と明記している。

よって、改正に当たっては第24条の改正は行わず保育措置制度の堅持・拡充を図るよう強く要望する。

提出先 内閣総理・厚生大臣

〔採決結果〕全員賛成

2月28日の予算特別委員会では原案のとおり可決された平成9年度東京都小金井市一般会計予算に対し、同日、付帯決議が出され、賛成多数で可決しましたので、その全文を掲載します。

平成9年度東京都小金井市一般会計予算に対する付帯決議

委員会の動き

議案 請願 陳情の審議
結果は7・8頁を参照
してください。

厚文委 (28日)

厚文文教委員会(小尾武人委員長)は、議案2件、請願2件、陳情2件を審査し、議案2件を審査し、陳情2件を採択、請願2件を採択、陳情3件を趣旨採択とし、残り5件をそれぞれ継続審査とした。

テニスコート増設による有効利用を図ることを願う請願を採択

がその経過はどういうことか。①一面の有効利用についての処置と近隣の方の反応は、②建設に当たり8面の計画を立て実現を進めようとする。③一面の有効利用について、近隣の方に一定の理解を求めている。④雑草等除去し、イースター等の水道資材置場として使用され、その間賃借料は減額されている。今後、一面の有効利用に向けて十分協議していきたい。平成3年から3年間の水道資材置場として使用され、その間賃借料は減額されている。今後、一面の有効利用に向けて十分協議していきたい。平成3年から3年間の水道資材置場として使用され、その間賃借料は減額されている。今後、一面の有効利用に向けて十分協議していきたい。

建設委 (28日)

建設委員会(井上忠男委員長)は、議案10件、陳情2件を審査し、議案の全てを採択、陳情は1件を採択、1件を継続審査とした。

本町団地入口交差点に時差式信号機の設置を求める陳情を採択

時差式信号機を設置するには、左折レーンを増やす必要があるが、現状の道幅員では困難である。交差点を改良し、拡幅しなければならぬ。当面は、路面上に表

総務委 (28日)

総務委員会(大島龍男委員長)は、2月19日、28日に、建築物の買入れについて等12件を審査し、議案議員案7件を可決し、陳情5件中、1件を採択、1件を趣旨採択、1件を不採択、2件を継続審査とした。

職員削減を全会一致で可決

職員削減を全会一致で可決。①人制を尊重すべき。②新年予算案にベア分を計上すべき。③一方の手順を踏んで執行する。④市民感情も考慮すべき。

予算委 (21・24・25・28日)

予算特別委員会(黒川輝秀委員長)は、平成8年度小金井市一般会計補正予算(第5回)を含む補正予算9件と、平成9年度小金井市一般会計予算を含む当初予算5件の計14件を審査し、14件すべてを原案のとおり可決した。



予算特別委員会
委員長 黒川輝秀

退職手当債について
①退職手当債を発行せず、退職金を払う方法はないのか。②好景気の時に退職金を積んでおくべきだったのではないのか。③土地等売却可能な資産はないのか。④他の基金の目的外の取り崩しや流用はできないのか。⑤退職手当債発行を考

退職手当債に疑問が集中

退職手当債に疑問が集中。①退職手当債を発行せず、退職金を払う方法はないのか。②好景気の時に退職金を積んでおくべきだったのではないのか。③土地等売却可能な資産はないのか。④他の基金の目的外の取り崩しや流用はできないのか。⑤退職手当債発行を考

ごみ特委 (26日)

ごみ問題対策特別委員会(五十嵐京子委員長)は、調査1件を審査し、継続調査とし、本会議で中間報告を行うことと決定した。

調査の中間報告をまとめる

ごみ減量対策及び終末処理に係る諸問題の調査。本件調査については、平成5年6月1日の本会議で当委員会の付託され、6月15日の第2回委員会調査の柱とした。

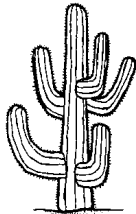
行財政特委 (28日)

行財政問題調査特別委員会(黒川輝秀委員長)は、調査1件、請願1件、陳情2件を審査し、調査を終了、陳情1件を採択、その他2件を不採択と決定した。

行財政再建の調査を終了

行財政再建に関する調査。この調査は、平成7年第2回定例会で、12人の委員で構成する当委員会に付託された。市の行財政の現状及び行財政再建の方策について、(1)事務事業・組織機構の見直しについて、(2)財政問題について、(3)小金井市行政診断調査報告書等について、(4)地方分権推進法の施行にあたって以上4項目を小項目に、平成7年6月15日から平成9年2月28日まで15回の委員会を開催し調査を行ってきた。その結果、次の調査結果を賛成多数で可決し、調査を終了した。

駅中特委については 6頁に掲載



本 会 議

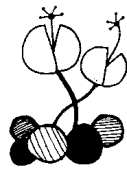
(4日)

▼4日の本会議では、議員から提出された小金井市議会議案の一部改正と小金井市職員定数条例の一部改正の議案をそれぞれ上程し、委員定数条例の一部改正については即決し、職員定数条例の一部改正については説明・質疑の後、委員会に付託しました。

▼4日の本会議では、議員から提出された小金井市議会議案の一部改正と小金井市職員定数条例の一部改正の議案をそれぞれ上程し、委員定数条例の一部改正については即決し、職員定数条例の一部改正については説明・質疑の後、委員会に付託しました。

全会一致で職員削減条例可決

行財政問題調査特別委員会は行財政再建に係る調査を終了し、委員長報告を行いました。この調査報告について、委員から提出された少数意見報告書の取扱いについて議員から懸念が出され、少数意見の訂正が行われました。



各特別委員会で調査報告

行財政問題調査特別委員会は行財政再建に係る調査を終了し、委員長報告を行いました。この調査報告について、委員から提出された少数意見報告書の取扱いについて議員から懸念が出され、少数意見の訂正が行われました。

質

議案の提出については市長と調整しているのか。

質

人数は市長の執行権の範疇だが、市長の不信任という意味はないのか。

答

行財政特委の行政再建に関する諸問題に係る調査の結果に基づいて、市政に責任を持つ意識から提案している。

質

市長提出議案、議員提出議案全てを可決する方がやりやすいようにフレキシブルな形で提案である。

答

子算定数を削減する人数はどのように積算したのか。

質

市長と意思の疎通は図っているのか。

答

委員付託審査案件の審査報告、討論、採決を行い、市長から送付された議案40件全てを可決し、議員から提出された小金井市職員定数条例の一部を改正する条例を全会一致で可決しました。

討 論

平成9年度東京都小金井市一般会計予算

反対討論(要旨)

日本共産党 森戸議員
反対の理由は、高齢者福祉や商工振興策など市民の要求にこたえる予算になっていないことである。

賛成討論(要旨)

自民党市民 稲葉議員
長引く景気の低迷、利子割交付金や収益事業の減収、特別減税の導入、また人件費比率の異常な高きで、市の財政は極めて厳しい状況にある。

職員給与に関する条例の一部改正について

反対討論(要旨)

大衆党 野見山議員
市長はなぜ退職金を出すに当たって説明を怠っているのか、経済的要因や過去の市長の責任等を述べただけである。

賛成討論(要旨)

生活者ネット 五十嵐議員
本市最大の課題は、退職手当償還である。市民からの批判が多いが、他の方法を考へると、市民サービスに直結する目的を基金や土地の売却に頼ることは難しく、投資的経費も教育や福祉など待ったなしのものである。

委員会の動き

駅中特委(28日)

駅周辺整備・中央線立体化問題調査特別委員会は、議員定数調査を依頼し、議員定数調査の結果は、7頁を越えすぎた。なお、討論後の審議結果は、7頁を越えすぎた。

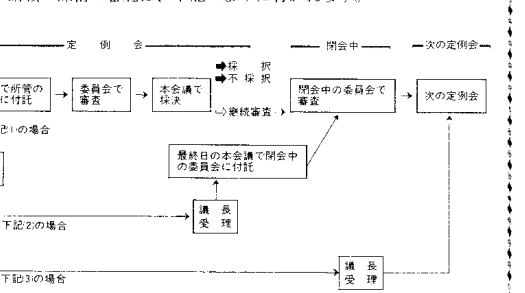
職員削減計画の見直し

日本共産党 長谷川議員
第一に、市長は10万市民の要求に応える職員配置をすべきだが、このための決断を要する。

将来の子どもにも豊かな放課後の保障を求める陳情書

日本共産党 板倉議員
入所児童数は年々増える傾向にある。学童保育料は所得に応じて料金が決められるため、所得が上がると、ところかたで増えてきている。ところが、施設の維持管理経費も運営経費も減らされる傾向にあり、維持管理経費と運営経費の合計額よりも、学童保育料総額の方が上回る状況。

請願・陳情の審査の流れ



※ただし、受理日によって、審査する日が異なります。(1) 定例会(3月、6月、9月、12月)開催 2日目の午後5時までに提出されたものは、その定例会中の委員会で審査します。(2) 定例会最終日の2日前午後5時までに提出されたものは、閉会中の委員会で審査します。(3) 閉会中に提出されたものは、次の定例会中の委員会で審査します。

議案・請願・陳情の審議結果

議案・請願・陳情名	付託委員会	説 明	各会派の態度												議決結果	
			○賛成	×反対	△出席	各会派の態度										
			市民	市民	市民	市民	市民	市民	市民	市民	市民	市民	市民	市民	市民	
平成8年度東京都小金井市一般会計予算補正(第5回)	予	歳入歳出予算総額に、それぞれ1億4,581万4,000円を追加し、予算総額を314億7,835万7,000円とするもの。	○	×	○	○	△	×	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
平成9年度東京都小金井市一般会計予算	予	歳入歳出予算総額を315億1,600万円とするもの。	○	×	○	○	△	×	○	○	○	○	○	○	○	☆ 原案可決
平成9年度東京都小金井市国民健康保険特別会計予算	予	歳入歳出予算総額を55億1,290万円とするもの。	○	×	○	○	○	× 1	×	○	○	○	○	○	○	原案可決
平成9年度東京都小金井市下水道事業特別会計予算	予	歳入歳出予算総額を21億584万円とするもの。	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
平成9年度東京都小金井市受託水道事業特別会計予算	予	歳入歳出予算総額を25億5,246万4,000円とするもの。	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
平成9年度東京都小金井市老人保健医療特別会計予算	予	歳入歳出予算総額を67億2,512万6,000円とするもの。	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
平成8年度東京都小金井市一般会計補正予算(第6回)	予	職員の給与と定に伴い、所要の経費を補正するもの。	○	△	○	○	○	×	△	△	○	×	○	○	○	原案可決
平成8年度東京都小金井市国民健康保険特別会計補正予算(第4回)	予	"	○	△	○	○	○	×	△	△	○	×	○	○	○	原案可決
平成8年度東京都小金井市下水道事業特別会計補正予算(第3回)	予	"	○	△	○	○	○	×	△	△	○	×	○	○	○	原案可決
平成8年度東京都小金井市受託水道事業特別会計補正予算(第4回)	予	"	○	△	○	○	○	×	△	△	○	×	○	○	○	原案可決
職員の給与に関する条例の一部改正について	総	職員の生活実態、本市の財政事情並びに国及び他の地方公共団体の状況等を勘案し、給与等を改正するもの。	○	△	○	○	○	×	△	△	○	×	○	○	○	☆ 原案可決
建物の買入れについて	総	現小金井保健所建物を東京都から取得するもの。	○	△	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	可決
行財政再建に関する諸問題に係る調査	行財	市の行財政の現状及び行財政再建の方策について調査するもの。	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	調査終了
小金井市テニスコート場のテニスコート増設により借地の有効利用を図ることを願う請願書	厚	小金井市テニスコート場の不利用部分をテニスコートとして利用できるように求めるもの。	○	△	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	採択
職員削減計画の見通しがたつまで欠員の不補充を貫くことを求める陳情書	行財	職員削減計画の見通しがたつまで、職員の欠員補充をしないという議会の意思を決議することを求めるもの。	○	×	○	○	△	○	△	△	○	○	○	○	○	採択
「1％節電」に関する陳情書	総	原発をこれ以上増やさないために市が、1％節電を行うとともに市民等にも広めるよう求めるもの。	×	○	×	△	○	△	○	△	○	×	△	○	△	不採択
私立幼稚園保護者負担軽減補助の所得制限の廃止を求める陳情書	総	都への、所得制限廃止の意見書の提出と、都が削減した補助額を当面市が負担するよう求めるもの。	×	○	×	×	×	× 1	○	×	×	×	×	×	×	不採択
保育園の子どもにとって、かけがえのない保母・栄養士の欠員補充を正規職員で行う事を求める請願書	行財	退職予定の保母と栄養士の正規職員での補充、全国での延長保育の実施、くりのみ保育園の乳児の定数拡大等を求めるもの。	×	○	×	×	×	× 1	○	×	×	×	×	×	×	☆ 不採択
地方自治擁護・「行政改革」に関する陳情書	行財	自治体財政確立の立場より、住専や二信連への公金支出の中止を要請し、不急事業、正規職員削減、公務の民間委託を行わないよう求めるもの。	×	○	×	×	×	×	△	×	×	×	×	×	×	不採択
将来を担う子どもに豊かな放課後の保障を求める陳情書	厚	希望する学童保育所に入所できるように、障害児の受け入れ可能な施設、60名定員に見合った施設と職員の充実を求めるもの。	×	○	×	△	○	△	△	△	○	△	○	△	△	☆ 不採択
市内循環のミニ・バス運行を求める陳情書	総	市諸施設利用に便利な市内循環のミニ・バスの運行実現を求めるもの。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	趣旨採択
無認可保育室の保護者助成金の引上げを求める陳情書	厚	3歳以下の無認可保育室に通う園児を持つ保護者に支給される保護者助成金の額の引き上げを求めるもの。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	趣旨採択
肢体不自由児も安心して地域の学校へ通えるよう市内全小・中学校の設備の改善を求める陳情書	厚	肢体不自由児が市内の学校へ通えるよう市内小・中学校にエレベーター、身障者トイレの設置、乗降員の配置を求めるもの。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	趣旨採択
小金井市公立保育園の障害児保育指定園拡大に関する陳情書	厚	障害をもつ子どもが地域の保育園に通えるよう障害児保育指定園拡大を求めるもの。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	趣旨採択
武蔵小金井駅周辺開発に関する陳情書	駅中	JR中央線高架化事業に合わせ、武蔵小金井駅前広場を2層構造にすることを求めるもの。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	趣旨採択
平成9年3月に小金井市議会の議員に支給する期末手当に関する条例の制定について	即決	本市の厳しい財政状況を踏まえ、市議会議員の期末手当を減額するもの。														
平成8年度東京都小金井市国民健康保険特別会計補正予算(第3回)	予	歳入歳出予算総額にそれぞれ1,504万9,000円を追加し、予算総額を52億6,365万5,000円とするもの。														
平成8年度東京都小金井市下水道事業特別会計補正予算(第2回)	予	歳入歳出予算総額からそれぞれ333万9,000円を減額し、予算総額を21億4,046万5,000円とするもの。														
平成8年度東京都小金井市受託水道事業特別会計補正予算(第3回)	予	歳入歳出予算総額からそれぞれ8,767万2,000円を減額し、予算総額を20億1,472万1,000円とするもの。														
平成8年度東京都小金井市老人保健医療特別会計補正予算(第2回)	予	歳入歳出予算総額に、それぞれ2億9,464万3,000円を追加し、予算総額を64億7,054万9,000円とするもの。														
特別職の給与に関する条例の一部改正について	総	本市の厳しい財政状況を踏まえ、市長、助役及び収入役としての姿勢を明確にするもの。														
小金井市職員退職手当支給条例の一部改正について	総	退職手当の返納規定等及び雇用保険法の一部改正に伴う規定の整備を図るもの。														
平成9年度分の固定資産税及び都市計画税の納期の特例に関する条例の制定について	総	平成9年度分に限り、評価替え年度による固定資産税台帳繰越期間の延期に伴い、納期の特例を定めるもの。														
小金井市市民集会所条例の一部改正について	総	小金井市貫井北五集会所及び小金井市中町天神前集会所を新設するもの。														
小金井市市税賦課徴収条例の一部改正について	厚	国民健康保険税の納期の変更を行うもの。														
小金井市保健センター条例の制定について	厚	市民の健康保持及び増進を図るための総合的な保健サービス事業を行う施設として、小金井市保健センターを設置し、必要な事項を定めるもの。														
小金井市自転車等の駐車秩序に関する条例の一部改正について	建	自転車の安全利用の促進及び自転車駐車場の整備に関する法律の改正に伴い、用語の整備を図るもの。														
市道路線の認定について	建	市道第209号線の起点と終点を認定し、路線の整理を行うもの。														

可決・採択(全員賛成)

※表中「付託委員会」「議決結果」欄の文字は次の名称の省略です。
 即決：委員会付託を省略し、本会議で採決したもの
 総：総務委員会
 建：建設委員会
 厚：厚生文教委員会
 予：予算特別委員会
 行財：行財政問題調査特別委員会
 駅中：駅周辺整備・中央線立体化問題調査特別委員会
 可決：市長から提出された議案に対して賛成されたもの
 採択：可決と同趣旨で請願や陳情に対するもの(不採択は逆)
 趣旨採択：願意は妥当であるが、実現性の面で確信がもてないもの
 ※「議決結果」欄の☆印は、討論が行われたものを示す。

続きは8頁

請願・陳情の執行・処理結果

議会が採択した請願・陳情を市長等が願意にそって執行・処理した旨の報告がありましたので、その内容を掲載します。

▼7 陳情第36号 小金井市立小・中学校施設の耐震診断と補強の実施を求めの陳情書 阪神・淡路大震災により建物の安全性を見直す動きの中で、国庫補助基準が定まり、耐震化の条件整備がされた。

▼8 陳情第22号 交通安全上 農工大西交差点の北東角の隅切り拡大を求めの陳情書 現状の隅切りは、高さ1・8メートルのフェンスが見通しを悪くし、また、隅切りも十分でないため、交通事故発生の一因となっている。

▼8 陳情第7号 農地等の固定資産税等適正化に関する請願書 農地等の土地に係る固定資産税は、平成9年度の評価替えに向けて、作業中である。固定資産の評価は、自治省が告示する固定資産評価基準により実施するよう定められ、市独自の評価方法をとることは難しい面がある。

▼8 陳情第25号 小金井市東部地域に住民票の設置を求めの陳情書 現在、電算化を中心とした事務改善及び窓口サービスを更に進めなければならない状況にある。

▼8 陳情第26号 (仮称)貫井北町センター建設に関する陳情書 (仮称)貫井北町センター用地は、地域センター4館構想に基づき最後の地域センター建設予定地として、平成5年に取得した。

▼8 陳情第24号 通称「東大通り」の拡幅に伴う陳情代表者 西村 智 陳情代表者からの意見 このままでは歩行者、通行者は危険と隣り合せが続きます人命を守るための対策を望みます。

あなたの声(請願・陳情)が 市政に反映されました。

い、通学路に当たる交差点に信号機の設置など安全対策を講ずるよう求める陳情書 交通安全対策(信号機設置)について、小金井警察署に要請を行った。

▼8 陳情第25号 小金井市東部地域に住民票の設置を求めの陳情書 現在、電算化を中心とした事務改善及び窓口サービスを更に進めなければならない状況にある。

▼8 陳情第26号 (仮称)貫井北町センター建設に関する陳情書 (仮称)貫井北町センター用地は、地域センター4館構想に基づき最後の地域センター建設予定地として、平成5年に取得した。

▼8 陳情第24号 通称「東大通り」の拡幅に伴う陳情代表者 西村 智 陳情代表者からの意見 このままでは歩行者、通行者は危険と隣り合せが続きます人命を守るための対策を望みます。

▼8 陳情第24号 通称「東大通り」の拡幅に伴う陳情代表者 西村 智 陳情代表者からの意見 このままでは歩行者、通行者は危険と隣り合せが続きます人命を守るための対策を望みます。

4月4日で審議未了となった案件

下記案件は、4月4日に議員の任期が満了したことに伴い、廃案となりましたので、以後審査は行われません。同趣旨の請願・陳情を希望される方は、手続が必要です。詳しくは、議会事務局までお問い合わせください。

総務委員会

- ▶ 小金井市役所北町分室移転促進に関し、具体的な見直し及び敷地の見直しを要求する事に関する陳情書
▶ 法務局出張所の統廃合計画等に関する陳情書

厚生文教委員会

- ▶ 難病者福祉の向上をめざす請願書
▶ 「小金井市体罰根絶宣言」の制定を求める請願書
▶ 重度障害児・者の通所訓練グループへの補助金の減額に関する請願書
▶ 「骨粗しょう症」検診の制度化を求める請願書
▶ 国民の権利としての公的介護保障拡充を求める陳情書

- ▶ 国民の願に応える公的介護保障の確立を国に要望することを求める陳情書
▶ 教育現場における体罰禁止の徹底を求める陳情書
▶ 図書館本町分室の開放を求める陳情書
▶ 国に財政措置を伴う「学童保育の法制化」を求める意見書の提出に関する陳情書
▶ あかね学童保育所の保育環境の改善を望む陳情書

建設委員会

- ▶ 駐輪場使用料の「学生割引制度」導入に関する陳情書

議会運営委員会

- ▶ 市政調査研究費の領収証の写しを議会事務局において厳正に保存しておいていただくことを強く求める陳情書

- ▶ 情報公開時代に積極的に対応し、市議会のCATV放送・モニター放送を進めていただくことを求める陳情書

ごみ問題対策特別委員会

- ▶ ごみ減量対策及び終末処理に係る諸問題の調査(駅周辺整備・中央線立体化問題調査特別委員会)
▶ 中央線連続立体交差化、南北交通難解消及び駅周辺開発に係る諸問題の調査
▶ 東小金井南口商店街の活性化のための施策を求める陳情書

市議会からのお知らせ

(議案・請願・陳情の審議結果〔可決・採択(全員賛成)〕※7頁続き)

平成9年3月23日(0)に小金井市議会議員選挙が行われ、25人の新議員が選出されました。新議員の任期は、4月5日(日)から4年間です。これに伴い、4月9日(木)に議員の初顔合わせが行われます。次回の議会だよりで新議員をご紹介します。

次の市議会定例会は 6月開催予定です。

編集後記

退職問題でマスコミ等の注目の的となった小金井市。しかし、市議選も終つてみれば投票率47%弱(前回並)の結果は、「危うさ」と期待が同居したのを感じます。この議会だよりは旧メンバーの発行です。(小川記)
市議会だより「は議会」の各議員の活動ぶりを市民に正確・適切に伝えることが使命である。その使命が果たされたらうか、と市議選(3月23日)が行なわれた直後の今、深く考え込まざるを得ない。(佐野記)

Table with 4 columns: 議案・請願・陳情名, 付託委員会, 説, 明. Rows include items like '市道路線の廃止について', '市道路線の認定について', '市議会委員会条例の一部を改正する条例', etc.